



片柳中学校だより

片柳

第9号 令和7年12月1日発行
さいたま市立片柳中学校
さいたま市見沼区大字御蔵551
TEL048-683-3173

<学校教育目標> 夢をはぐくむ学校 ○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○心身を鍛える生徒

仲間と響かせた、成長のハーモニー

校長 佐久間 貴宏

片柳中学校では、キャリア教育に力を入れています。勘違いされる方もおられるのですが、キャリア教育とはエリートを育成するような教育ではなく、非常に簡単に言えば「どう生きるか」を考える教育です。将来の職業や社会の仕組みを学びながら、自分の生き方を見つめ、よりよく生きるための力を育てることを目指しています。生徒たちには、日々の学びや体験を通して、「自分はどんな人間になりたいのか」「どうやって社会に貢献することができるのか」「どんな社会をつくりたいのか」を少しずつ考えてほしいと願っています。

こうした教育の基盤として、本校では**言語能力、問題発見・解決能力、情報活用能力、コミュニケーション能力・他者と協働する力、自己調整力**の5つの資質・能力の育成を目指しています。これらは、将来「仕事をする」「社会で生きる」ということを意識しながら、自分の思いや経験を言葉で表現し、他者と協働するために欠かせない力です。最近では、文章を書く場面で自分の考えを整理し、相手に伝わるように工夫する姿や、仲間と協力して課題に取り組む姿が以前より多く見られるようになりました。生徒たちの中に確かな成長の芽が育っていることを感じます。

その力が大きく花開いたのが、先日行われた合唱コンクールです。各学級に与えられた課題は「一人ひとりが声を合わせ、心をつなげて歌を完成させ、思いを届ける」というもの。練習の過程では、音程やリズムをそろえるために互いに声を掛け合い、時には意見がぶつかることもありました。しかし、そのたびに話し合いを重ね、よりよい方法を見つけ出そうとする姿がありました。パートごとに音を確認し合う姿やリーダーが「みんなで作り上げる合唱にしたい」と声をかけ、仲間を励ます場面がありました。こうした一つひとつの行動に、**問題発見・解決能力**や**コミュニケーション能力・他者と協働する力**、そして**自己調整力**の成長を感じました。

当日のステージで響いた歌声は、学級としての成熟と、個々の努力の結晶でした。歌い終えた後の生徒たちの表情には、達成感とともに「仲間と協力してやり遂げた」という自信があらわれていました。保護者や地域の皆様からも「子どもたちの姿に感動しました」という声をいただき、私自身も胸が熱くなりました。この経験は、単なる音楽活動にとどまらず、これからの人生において大切な力を育む機会となったと確信しています。

生徒の皆さんが羽ばたいていく世界は希望に溢れるとともに、様々な問題も抱えています。中には、解決が非常に難しく、その糸口が見えないような問題も少なくありません。だからこそ、皆さんがこれからさらに成長し、自分と周囲の幸せを願い、他者と協働することができる人間になってほしいと願っています。今回の合唱コンクールで培った力を、これからの学びや生活に生かし、さらに成長させ、未来を切り拓いていく大きな力としていきましょう。きっと、一つ一つの取組は将来を切り拓くための大きな力の礎となるはずですよ。

言語能力

- たくさんの言葉や表現を知り、状況や相手に合った表現を使うことで、自分の気持ちや考えをしっかりと伝えたり、相手の話を正しく理解したりすることができる。
- 文章や相手の態度をとらえ、言葉に自分の気持ちでまとめることができる。
- 文章や相手の言葉の内容や意図を的確に理解することができる。

コミュニケーション能力・他者と協働する力

- 意思と積極的に関わって、自分の気持ちや意見を伝え合い、協力して新しいアイデアを思い出すことができる。新しい言葉からできる。

問題発見・解決能力

- 自分の問題とするイメージ図や構成図に解決策が思いつかないかを見つけ出すことができ、解決策を出すことができる。また、季節や社会生活の中でどこに活かされているかを考えることができる。

自己調整力

- 振り返りを活用しながら、自分の強みと弱みを理解し、考えられた範囲内でどうすればいいかを考え、知り尽くして取り組むことができる。

情報活用能力

- 自分で調べた「未来はくむ」を整理し、伝えたいことをまとめて発表する。自分なりの新しい知識を得る。また、その情報を自分なりの知識と組み合わせることができる。

資質・能力のイメージ

『自己調整力』を中心に考え、4つの資質・能力を育成するに際して自己調整力も育成されている。また、他の3つの資質・能力を発揮することによって、その資質・能力も育成されていると考えます。